



さようなら原発 10万人集会

2012年7月16日
東京都 代々木公園



「さようなら原発一千万人署名市民の会」主催による「さようなら原発10万人集会」が東京都の代々木公園で開催され、全国から17万人(主催者発表)もの人々が集まり、脱原発を訴えました。

これまで行われてきた脱原発集会の中でも最大規模のものとなり、市民の意志が大きくなるとなると脱原発に向かっていくことを実感する集会となりました。

グリーンコープも、「『六ヶ所再処理工場』に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク(阻止ネット)」の一員として、共同体や各単協から組合員28人が参加しました。

集会

集会には、全国の市民団体、NGO、生協などのほかに、学生や幼い子どもを連れた母親など、若い層も多く見られた。ライブやトークイベント、大江健三郎さんや坂本龍一さんら呼びかけ人からのアピール、原発のある地域からのアピールなど、広い公園内のあちこちで多彩な催しが行われた。

グリーンコープ組合員も横断幕やゼッケンを作って参加した



おおい



やまぐち



くまもと



パレード

集会後は3コースに分かれてパレードを行った。参加者は「命を守ろう」「原発反対」などのシュプレヒコールを上げながらおよそ3kmの道のりを歩いた。沿道からの声援も多く聞かれた。



阻止ネットからのアピール

グリーンコープ共同体
代表理事 田中裕子さん

グリーンコープからは40万人の組合員を代表し、九州を中心とした各県から参加しています。私自身は佐賀県からの参加で、これまでずっと玄海原発に反対してきました。玄海では現在すべての原子炉が止まっています。佐賀の穏やかな自然、食べもの、きれいな水を子どもたちに手渡していきたいと思っています。今日集まっている沢山のみなさんの思い、私たちの



思いと共に、原発を止めるこの動きを大きくつくっていきます。
あいコープみやぎ組合員
原発を止めない限り、放射性廃棄物が生まれ続け、未来の子どもたちに負荷をそのまま残すことになりま。原発を止める行動を粛々と着実に進めていきます。



重茂漁協のアピール



大漁旗を掲げて参加

美しく豊かな三陸の海で生活してきた私たちは、東京電力の原発事故で、まさに生活を奪われる状態に陥っている。関東以北の広い範囲で肉、野菜、魚、その他多くの食べものから放射性物質が検出され、生産者は非常に苦しんでいる。この原発事故について、政府や東京電力の関係者は想定外の事故であると釈明に躍りになっているが、構造的な欠陥による事故であることは明らかだと思ふ。原発が安心・安全と言ふならば、田舎ではなく東京のど真ん中につくってもらいたい。
※震災以前からグリーンコープの「三陸わかめ」を生産してきた岩手県重茂半島の漁協。せっけん運動にも積極的に参加している